

第53期
株主通信

2010年2月1日～2011年1月31日

表紙写真: (上) 小江戸蔵里

(下左から) CEATEC JAPAN 2010 富士通ブース、レストランテ・ヒロ博多、松江歴史館

To Our Shareholders



代表取締役社長
青田 嘉光

株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの「東北地方太平洋沖地震」により、不幸にしてお亡くなりになられました方に対し、衷心より哀悼の意を捧げるとともに、被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当社はもとより微力ではございますが、被災地の一日も早い復興のために、少しでもお役に立てますよう、できる限り

ご協力させていただく所存でございます。また、当社におきましては、仙台営業所で軽微な被害がありましたものの、平常どおり営業いたしておりますので、ご安心ください。被災地の皆様に対しては、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

■当期を振り返って

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景とした輸出、生産の増加等により一部持ち直しの動きが見られたものの、急速に円高が進む中、雇用情勢や所得環境も本格的な回復には至らず、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

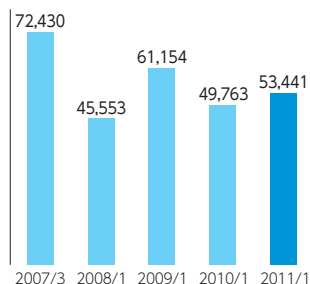
当ディスプレイ業界の事業環境につきましては、個人消費が本格的な回復に至らない中、企業の設備投資や販促関連投資は弱含みで推移しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当グループは、利益目標達成のため、堅実経営に徹し、固定費の削減及び原価の圧縮に取り組むとともに、積極的な受注獲得に取り組んでまいりました。

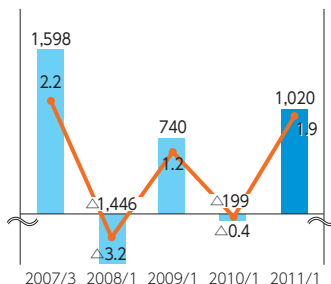
この結果、当連結会計年度の売上高は534億41百万円(前連結会計年度比7.4%増)となり、営業利益は10億20百万円(前

連結決算ハイライト

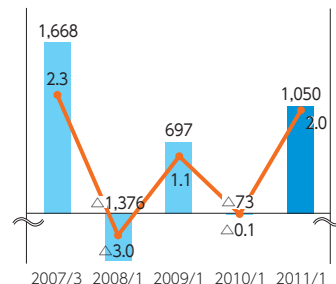
● 売上高
(単位:百万円)



● 営業利益/売上高営業利益率
(単位:百万円/%)



● 経常利益/売上高経常利益率
(単位:百万円/%)



連結会計年度 営業損失1億99百万円)、経常利益は10億50百万円(前連結会計年度 経常損失73百万円)、当期純利益は8億11百万円(前連結会計年度 当期純損失22億97百万円)となりました。

なお、当連結会計年度の受注高は561億86百万円となりました。

また、一定の業績回復を果たしたこと及び今後の経営環境等を考慮し、当期の期末配当金につきましては、1株当たり4円とさせていただきます。

■今後の経営方針

今後の見通しにつきましては、海外経済の改善や各種の政策効果等による景気の持ち直しが期待されますが、海外景気の下振れ、円高の進展、物価の下落、雇用情勢の悪化等の懸念材料も依然として残っており、予断を許さない状況が続いております。

当グループを取り巻く環境につきましては、空港施設等のインフラ整備や都市再開発等、一部の市場において回復の兆しがあるものの、価格競争は引き続き厳しいものが続く見通しであります。

なお、今般発生した東北地方太平洋沖地震が当社連結業績に

与える影響につきましては、現在調査中ではありますが、業績への影響が見込まれる場合には速やかにお知らせいたします。

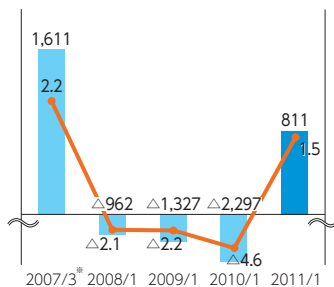
このような状況のもと、当グループは厳しい経営環境の中でも確実に利益を創出し、成長し続けるべく、強靱な企業体質の構築を目指して、中期経営計画(平成24年1月期～平成26年1月期)を策定し、①事業改革、②機能改革、③グループ改革の3つの経営改革を実行しております。主な施策の内容は、事業改革においては「事業の再編成、再構築」、「職種間協業の促進」、機能改革においては「企業統治体制の見直し」、「人事・労務体制の見直し」、「業務プロセスの見直し」、グループ改革においては「グループ会社の再ポジショニング」であります。

当グループといたしましては、この中期経営計画に基づいた体質改善のための諸施策に取り組み、堅実経営に徹することにより、中長期的に安定した利益を確保し続けることができる企業への変革を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

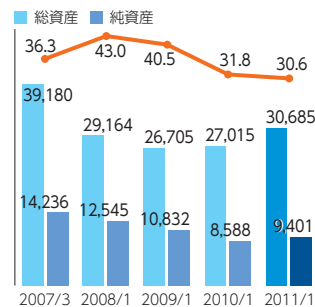
2011年4月

● 当期純利益/売上高当期純利益率
(単位:百万円/%)

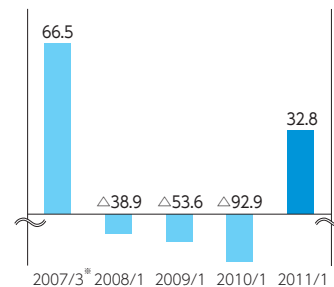


*特別利益に厚生年金基金代行返上益18億58百万円を計上しております。

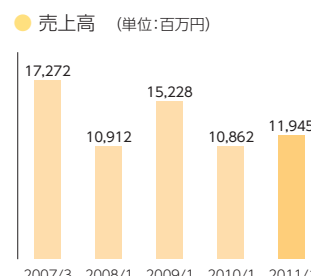
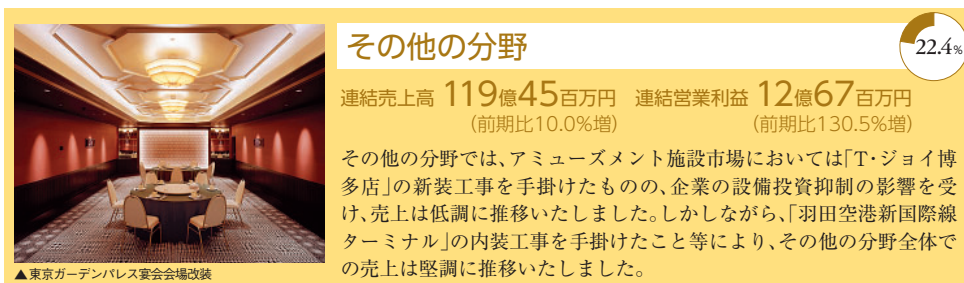
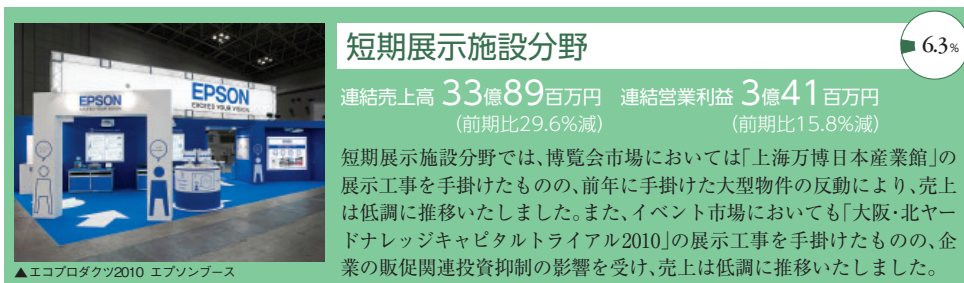
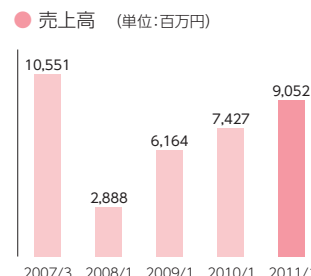
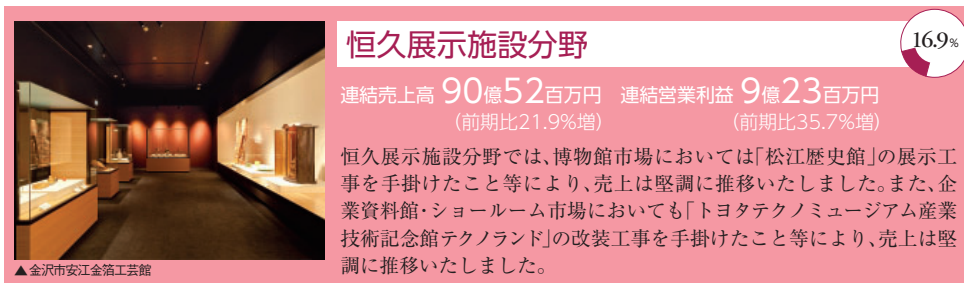
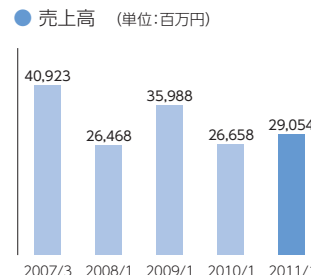
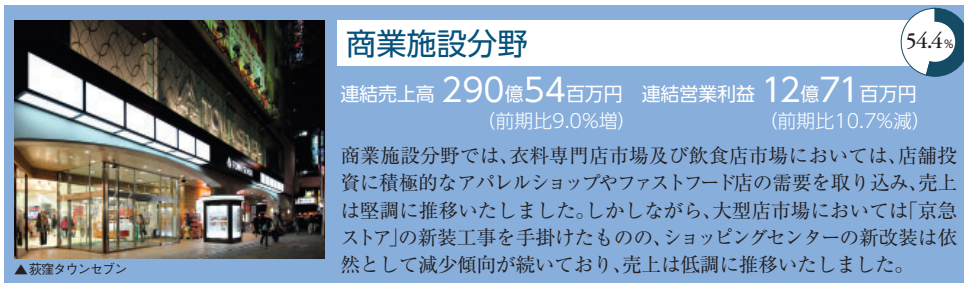
● 総資産/純資産/自己資本比率
(単位:百万円/%)



● 1株当たり当期純利益
(単位:円)



*特別利益に厚生年金基金代行返上益18億58百万円を計上しております。



「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」においてユニバーサルデザインセミナーを開催



当社は、2010年10月30日～11月3日に、浜松市で開催された「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in はままつ」において、特別セミナー「こころのユニヴァーサルデザインを共に考える」を開催しました。

おもてなしの心で、さまざまな特性をもった方へ配慮した当社の空間づくりと、さまざまな特性をもった方々との交流の場「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」に参加したデザイナーの気づきや体験談のほか、最新事例をご紹介します。

丹青社のユニバーサルデザイン

おもてなしの心

こころのUD

心理的、感情的な側面での配慮

ソフトのUD

効果的に、快適に目的を達するための配慮

ハードのUD

空間的、物理的な側面での配慮

2010年度グッドデザイン賞を受賞

当社がお手伝いをさせていただいた「松丸本舗」と「鷺谷健診センター」が、2010年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

「松丸本舗」は新刊・古本、新書・マンガなど形態・ジャンルを問わずに、個々の本がもつ「知」を独自のテーマで分類しレイアウト。段違いの棚板が連なる本棚で回遊を促し、「予期せぬ出会い」を演出しています。また、「鷺谷健診センター」は空間から備品、ホスピタリティあふれる接遇まで、「健康診断サービスのトータルデザイン」を実現したことが高く評価されました。



◀「鷺谷健診センター」
デザイン監修:IST
デザイン・制作:(株)丹青社



▶「松丸本舗」
構想構成・計画実施:(株)松岡正剛事務所
(株)編集工学研究所
空間企画:(株)丹青社
意匠計画:MIKAN-DESIGN
空間・家具企画設計:丸善(株)

タンセイ ブリード パネル 「TANSEI BLEED PANEL」のご紹介

当社は、オリジナル最新素材・LED導光板「TANSEI BLEED PANEL」を早水電機工業(株)と共同開発し、空間づくりに活用しています。環境に配慮しながら、今まで不可能だった光の演出やデザインが可能という特長が評価を受け、『2010年上海万国博 日本産業館「未来郵便局体験館」コクヨ』などで採用されています。



香港・IDTExpo (イノベーション・デザイン&テクノロジー・エキスポ)に出展

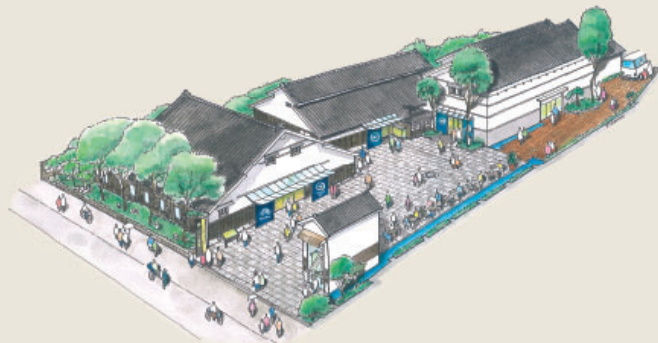
当社は、2010年12月2日～4日に香港で開催された、アジア最大級の国際コンベンション、BODW(ビジネス オブ デザインウィーク)の国際見本市、IDTExpoにブースを出展しました。ジャパンデザインの魅力とともに、丹青の心をPRしました。





KOEDO
KURARI
小江戸

蔵里 街の文化遺産を指定管理者制度で



おみやげ処 明治蔵



Q. 当プロジェクトの概要と受注経緯をお聞かせください

A. 明治から昭和にかけて建造された国の登録有形文化財である酒蔵群を商業施設として蘇らせた「小江戸蔵里」は、埼玉川越市による指定管理者制度を活用した事業です。当社で



は、企画・設計、施設内店舗などの選定・誘致、ロゴマーク制作といった多岐にわたる業務を担当しました。

事業化にあたっては事業者の公募と複数社による企画コンペが行われ、当社が企画立案

を担当した「(株)まちづくり川越」様が指定管理者に選定されました。当社策定案では、繁華街と観光スポットである蔵造りの町並みとの中間地点で集客施設などが少ない事業予定地に、地場産品などの物販や飲食、地域の交流スペースなど多彩な機能を集約。人の流れを生む“新たな観光拠点”を具現化したことが特に評価されたようです。

Q. 当プロジェクトで苦労した点は何ですか？

A. 事前に川越市が構造補強した3棟の酒蔵の設計・デザイン面では、さまざまな法的な制約をクリアしながら、重要文化財である古い建造物と新しい商業機能をマッチングさせる点に特に苦労しました。防災面でも、耐火建造物ではない古い建物に飲食店の厨房なども入るわけですから、既存不適格の建造物として諸官庁とひとつひとつ協議していくのも大変でした。他に、密閉性の低い古い建造物での空調・給排気の効率化や温度調整、むき出しになっていた補強箇所と、古い構造との調和などにも気を遣いました。

また、飲食店や物販店といった施設の運営委託先の募集・選定にあたっては、設備・什器などの調達、地元商工会の意向など複雑な要件を勘案しながら、根気強く運営側との折衝を重ねました。



小江戸蔵里外観

商業施設に再生。

まかない処 大正蔵



くら市場 昭和蔵

Q. 当プロジェクトの成果・収穫はいかがですか？

A. オープンして4ヶ月の来訪者は、ほぼ計画通りの集客数が見込めることになり、これまで博物館や美術館といった文化施設に適用されることの多かった指定管理者制度が、商業施設でも成功しうることを実証したと思います。業務委託先の選定・誘致から商品計画や仕入計画、棚・什器・区画単位のきめ細かい売り場の編集、さらには、社内コンペで選ばれたデザイナーによる、従来の観光客層だけでなく、外国人や若年層にもアピールできるショップアイデンティティやロゴデザイン、紙袋、名刺、レシートといった各種アプリケーションのデザインに至るまで、多岐にわたる業務を一貫して担当させていただいた今回のプロジェクトは、当社のビジネスの裾野を確実に広げたといえるでしょう。



プロジェクトにたずさわったCS事業部の面々

- | | | |
|---------|----------|--------|
| (前列左から) | 営業担当 | 佐藤 龍也 |
| | デザイン担当 | 上垣内 泰輔 |
| | プランニング担当 | 小美濃 隆 |
| (後列左から) | デザイン担当 | 蓮見 淳一 |
| | デザイン担当 | 立川 美和 |
| | デザイン担当 | 佐藤 篤 |
| | デザイン担当 | 宮城 良太 |

指定管理者制度とは？

地方公共団体などに限定されていた公的施設の管理・運営を、営利企業や財団法人・NPOといった組織に代行させる制度。(2003年施行)

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 2010年1月31日	当連結会計年度 2011年1月31日	増減額	科 目	前連結会計年度 2010年1月31日	当連結会計年度 2011年1月31日	増減額
(資産の部)	(27,015)	(30,685)	3,670	(負債の部)	(18,426)	(21,283)	2,857
流動資産	16,813	20,499	3,685	流動負債	15,649	16,985	1,336
現金預金	4,221	4,426	204	支払手形・工事未払金等	6,393	8,167	1,774
受取手形・完成工事未収入金等	7,577	7,512	△64	短期借入金	5,395	3,760	△1,635
未成工事支出金等	4,510	8,077	3,567	未払法人税等	118	207	88
繰延税金資産	15	37	21	未成工事受入金	1,565	2,855	1,289
その他	513	462	△50	賞与引当金	280	292	12
貸倒引当金	△24	△17	7	完成工事補償引当金	56	113	57
固定資産	10,201	10,185	△15	工事損失引当金	276	426	149
有形固定資産	6,131	6,037	△93	繰延税金負債	10	11	0
建物・構築物	2,813	2,803	△9	その他	1,553	1,151	△402
機械・運搬具・工具器具備品	635	642	6	固定負債	2,776	4,297	1,521
土地	4,476	4,476	—	長期借入金	1,686	3,186	1,500
減価償却累計額	△1,794	△1,884	△90	退職給付引当金	43	47	3
無形固定資産	209	278	68	役員退職慰労引当金	100	74	△26
投資その他の資産	3,861	3,870	8	繰延税金負債	612	641	28
投資有価証券	1,569	1,626	57	その他	333	348	15
繰延税金資産	33	21	△12	(純資産の部)	(8,588)	(9,401)	812
敷金保証金	749	678	△71	株主資本	8,391	9,202	810
その他	1,767	1,855	87	資本金	4,026	4,026	—
貸倒引当金	△259	△312	△53	資本剰余金	4,024	4,024	—
資産合計	27,015	30,685	3,670	利益剰余金	379	1,191	811
				自己株式	△39	△40	0
				評価・換算差額等	195	199	3
				その他有価証券評価差額金	201	223	22
				為替換算調整勘定	△5	△24	△19
				少数株主持分	2	—	△2
				負債純資産合計	27,015	30,685	3,670

Point:1

資産の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて13.6%増加し、306億85百万円となりました。これは、主に受注・売上の増加に伴い、未成工事支出金等が35億67百万円増加したことによるものであります。

Point:2

固定負債は、前連結会計年度末に比べて54.8%増加し、42億97百万円となりました。これは、資金の安定調達を目的に、短期借入金の一部を長期借入金へ借り替えたことによるものであります。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 自 2009年2月1日 至 2010年1月31日	当連結会計年度 自 2010年2月1日 至 2011年1月31日	増減額
売上高	49,763	53,441	3,678
売上原価	42,929	46,351	3,421
売上総利益	6,833	7,090	256
販売費及び一般管理費	7,033	6,069	△963
営業利益又は損失(△)	△199	1,020	1,220
営業外収益	219	263	43
営業外費用	94	233	139
経常利益又は損失(△)	△73	1,050	1,124
特別利益	46	37	△8
特別損失	1,529	64	△1,465
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	△1,556	1,024	2,581
法人税、住民税及び事業税	103	208	104
法人税等調整額	648	3	△645
少数株主利益又は損失(△)	△11	0	11
当期純利益又は損失(△)	△2,297	811	3,109

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 自 2009年2月1日 至 2010年1月31日	当連結会計年度 自 2010年2月1日 至 2011年1月31日	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,988	856	3,845
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,751	△150	2,601
財務活動による キャッシュ・フロー	3,339	△474	△3,813
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	△27	△28
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,399	204	2,604
現金及び現金同等物の 期首残高	6,621	4,221	△2,399
現金及び現金同等物の 期末残高	4,221	4,426	204

Point:3

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億56百万円の収入となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益を10億24百万円計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億50百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億74百万円の支出となりました。これは、主に社債の償還によるものであります。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2010年2月1日 至 2011年1月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2010年1月31日残高	4,026	4,024	379	△39	8,391	201	△5	195	2	8,588
連結会計年度中の変動額										
当期純利益			811		811					811
自己株式の取得				△1	△1					△1
自己株式の処分			△0	0	0					0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						22	△19	3	△2	1
連結会計年度中の変動額合計	—	—	811	△0	810	22	△19	3	△2	812
2011年1月31日残高	4,026	4,024	1,191	△40	9,202	223	△24	199	—	9,401

株式の状況

株式の総数	
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式総数	24,832,857株
株主数	2,963名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
丹青社取引先持株会	1,682 千株	6.8 %
株式会社みずほ銀行	1,078	4.3
株式会社三井住友銀行	1,028	4.1
第一生命保険株式会社	978	3.9
日本生命保険相互会社	926	3.7
丹青社従業員持株会	894	3.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	786	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	760	3.1
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	491	2.0
佐藤 正	436	1.8

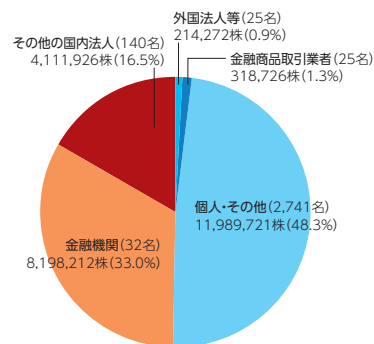
会社概要

商号	株式会社丹青社
設立	1959年12月25日
資本金	40億2,675万657円
上場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	758名(連結1,108名)
主要事業内容	国内外見本市、博覧会、展覧会、百貨店、ショッピングセンター、専門店、一般小売店、ホテル、レストラン、ショールーム、オフィス、博物館、科学館等の調査、企画、設計、施工、監理、運営管理

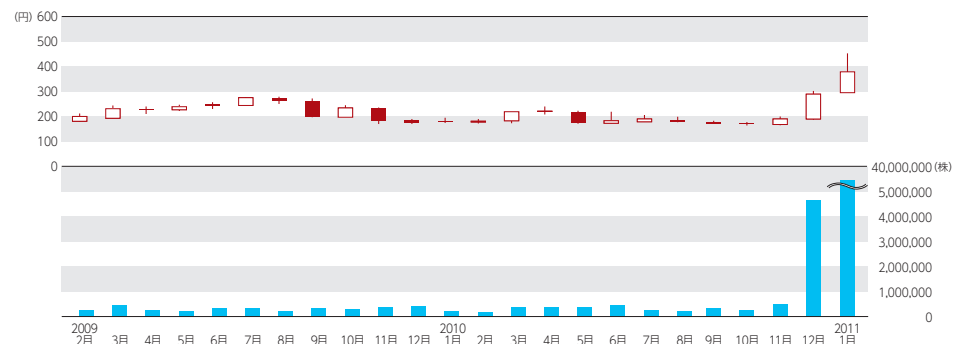
役員 (2011年4月21日現在)

取締役会長	渡辺 亮
代表取締役社長	青田 嘉光
取締役常務	伊藤 芳晃 (丹青創設設計咨詢(上海)有限公司董事長)
取締役	高橋 康夫 (CS事業部長)
取締役	鈴木 清明
取締役	高橋 貴志 (制作管理センター長)
取締役	森 俊憲 (文化空間事業部長)
取締役	橋本 俊朗 (ストアエンジニアリング事業部長 北京丹青嘉輝建築裝飾有限公司董事長)
常勤監査役	鈴木 義隆
監査役	余田 幹男
監査役	山田 博重
監査役	長谷川 明

所有者別状況(株式数構成比)



株価の推移



事業所

- **本 社**
〒110-8549 東京都台東区上野5丁目2番2号
- **札幌支店**
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目3番地
札幌MNビル6F
- **名古屋支店**
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目24番17号
日本生命栄町ビル9F
- **関西支店**
〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3番3号
日本生命梅田ビル9F
- **九州支店**
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
博多駅前ビジネスセンター4F



連結子会社

- **株式会社丹青TDC**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番6号
- **株式会社丹青研究所**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番2号
- **株式会社丹青モールマネジメント**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 植木ビル5F
- **株式会社丹青ヒューマネット**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目6番11号 リベラ秋葉原9F
- **株式会社丹青ディスプレイ**
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町31番14号 岡三桜丘ビル5F
- **株式会社ティーアンドティー**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番1号 丹青社別館3F
- **株式会社丹青ビジネス**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番6号
- **株式会社TmG**
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目2番17号 下島ビル8F
- **合同会社丹青ビルマネジメント**
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番2号
- **丹青創藝設計諮詢(上海)有限公司**
〒200030 上海市零陵路899号飛洲国際広場18階A座
- **北京丹青嘉輝建築裝飾有限公司**
〒100027 北京市朝陽区東三環北路3号 幸福大厦A座1508室

株主メモ

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
配当金受領株主確定日 期末配当1月31日
中間配当7月31日
定時株主総会 毎年4月
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
Tel.0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.tanseisha.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない
事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

HPのご案内

<http://www.tanseisha.co.jp/>



当社のHPでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。
当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

撮影者:石井 紀久、クドウオリジナルフォト、ナカサ&パートナーズ、
馬場祥光、フォワードストローク、三富 純、山戸 康嗣

社名の由来 ——「丹青」とは、中国から伝わった言葉であり、古くは画家のことを指した。唐の詩人、杜甫の七言古詩にも使われている。

丹青知らず、老いの将に至らんとするを。富貴は我れに於て浮雲の如し。(杜甫「丹青引、曹將軍覇に贈る」)

絵を描くことに熱中して歳をとることも忘れ、世の中の富貴、栄華などは、浮雲のように頼りないものと思っている。

株式会社丹青社

〒110-8549 東京都台東区上野5丁目2番2号
Tel. 03(3836)7221(代表) Fax. 03(3836)1380(代表)

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9743

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

